

公益財団法人応用科学研究所 令和5年度第1回理事会議事録

1. 開催日時 令和4年5月30日(火) 14:00~15:30
2. 開催場所 公益財団法人応用科学研究所森記念研究棟2階会議室
京都市左京区田中大堰町49番地
3. 理事現在数及び定足数
現在数 10名、 定足数 6名
4. 出席理事数 7名
(本人出席) 大原 久典、北野 正雄、久保 愛三、成宮 明、野村 剛、野村 俊雄、
柳原 正裕
(監事出席) 西 亨、村上 博保
(議案説明及び報告) 久保理事長、北野副理事長、野村常務理事、成宮常務理事
5. 議案 第1号議案 「資産取得資金の一部繰り延べについての承認」を求める件
第2号議案 「資産取得資金(プラズマ窒化装置取得資産)の取崩しについての承認」
を求める件
第3号議案 「令和4年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び附属明細書
並びに財産目録の承認」を求める件
第4号議案 令和5年度定時評議員会招集に関する件
第5号議案 令和5年度定時評議員会に提案する次期理事候補の件
報告事項 (1) 機械基盤研究会の活動状況について
(2) 職務執行状況報告(令和5年度第1回)
6. 開会・議長の選出並びに議事録署名人の選出
(1) 定足数の確認等
14:00に野村事務局長が理事7名及び監事全員の出席を確認し、久保理事長の冒頭の挨拶の後、
事務局長から本会議の議事進行及び議案資料について説明があった。
(2) 開会及び議長の選出並びに議事録署名人の選出
定款第46条に基づき久保理事長が議長となり、本会議の成立を宣言した。
議事録署名人は定款第51条の規定に基づき、久保理事長、北野副理事長、西監事、及び村上
監事とし、議案の審議に移った。
7. 議事の経過の概要及びその結果
第1号議案「資産取得資金の一部繰り延べについての承認」を求める件
議長の求めにより、まず事務局から下記の説明が行われた。当該資金の具体的な実行について
当初想定していた購買に伴う状況が大幅に変化しており、実施内容の大幅な変更、入替などが
あったことにより再度審議となった。
具体的内容については議案書に示すとおりとの説明があった。
これらの説明に基づき、第1号議案について議長から各理事の意見が徴された後、全員異議

なく、本件は可決承認された。

第2号議案「資産取得資金(プラズマ窒化装置取得資産)の取崩しについての承認」を求める件
議長の求めにより、まず事務局から下記の説明が行われた。

当該資産取得資金については、令和4年度に実施する予定であったが、調達時期が令和5年度以降になること、本年度決算が大幅な赤字になり、運転資金を積み増しする必要があることなどから当該資金全額を取り崩すこととした。具体的内容については議案書に示すとおりとの説明があった。

これらの説明に基づき、第2号議案について議長から各理事の意見が徴された後、全員異議なく、本件は可決承認された。

第3号議案「令和4年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び附属明細書並びに財産目録の承認」を求める件

議長の求めにより、まず事務局から詳細の説明が行われた。引き続き議長から、去る5月18日に公益財団法人応用科学研究所応接室において行われた監査の結果について、監事の報告が求められ、西監事から業務監査の結果について、監事監査規程に基づき、事業報告書及び理事の職務の執行について問題がなかったことが報告された。また村上監事からは、監事監査規程に基づき会計帳簿並びに関係書類の閲覧を行い、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める旨、報告された。

これらの説明に基づき、第3号議案について議長から各理事の意見が徴された後、全員異議なく、本件は可決承認された。

第4号議案 令和5年度定時評議員会招集に関する件

議長から下記の説明があった。

本理事会で審議承認された令和4年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び附属明細書並びに財産目録について、令和4年事業年度終了時から3ヶ月以内に内閣府への報告を必要とし、それまでに定時評議員会で承認を求める必要があることから、来る6月15日に本年度定時評議員会を招集することの必要理由が説明され、審議の結果、この提案は全員異議なく承認された。

第5号議案 令和5年度定時評議員会に提案する次期理事候補の件

理事長から下記の説明があった。

本法人の現理事は本年6月の定時評議員会をもって任期満了となる。公益財団法人に移行して以来12年が経過し、9年前に新しく発足した機械基盤研究事業もコア事業として確り根付いたものの、法人を取り巻く景況等は依然として不透明であり、経営上の課題も多く抱えている。このような状況の中で本法人の更なる発展を図るためには、従来の経緯を踏まえた上での運営と改革に加えて、新たな発想が必要であり、今回は、一部の重任理事の他に、新たに2名の新理事を迎えたいこと。即ち、新任候補の仲田摩智氏には、ものづくりから営業を含む事業運営、会社経営までの、これまでの経験・見識を活かして頂くべく、また中務陽介氏には、若手なが

ら技術や生産の管理部門を中心とした豊富な経験に加え、海外経験に基づくグローバルな視点を活かして頂くべく、新たに次期理事に就任して頂くことが適切と考えられるとの説明があった。

これらの経緯から野村剛理事と柳原正裕理事を除く現理事 8 名と、仲田摩智氏、中務陽介氏を加えた計 10 名を次期理事として評議員会に提案することが諮られ、全員異議なく了承された。

8. 報告事項

議長の求めにより、下記 3 件の報告があった。

- (1) 機械基盤研究会の活動状況について成宮常務理事より報告された。
- (2) 職務執行状況報告（令和 5 年度第 1 回）

ここで、(2) 令和 5 年度第 1 回職務執行状況の報告については、別添の配布資料を元に説明があった。報告者はそれぞれ《全般運営》が久保理事長、北野副理事長、野村常務理事及び成宮常務理事、《研究開発運営》が久保理事長及び成宮常務理事、《総務・工場運営》が野村常務理事及び成宮常務理事であった。

以上をもって全ての議案の審議及び報告は終了したので、議長は閉会を宣し、解散した。

上記の決議を明確にするため、定款第 51 条により、出席した理事長、副理事長、並びに監事が議事録署名人としてこれに署名押印する。

令和 5 年 5 月 30 日

公益財団法人応用科学研究所令和 5 年度第 1 回理事会

議事録署名人 理事長 久保 愛三

議事録署名人 副理事長 北野 正雄

議事録署名人 監 事 村上 博保

議事録署名人 監 事 西 亨